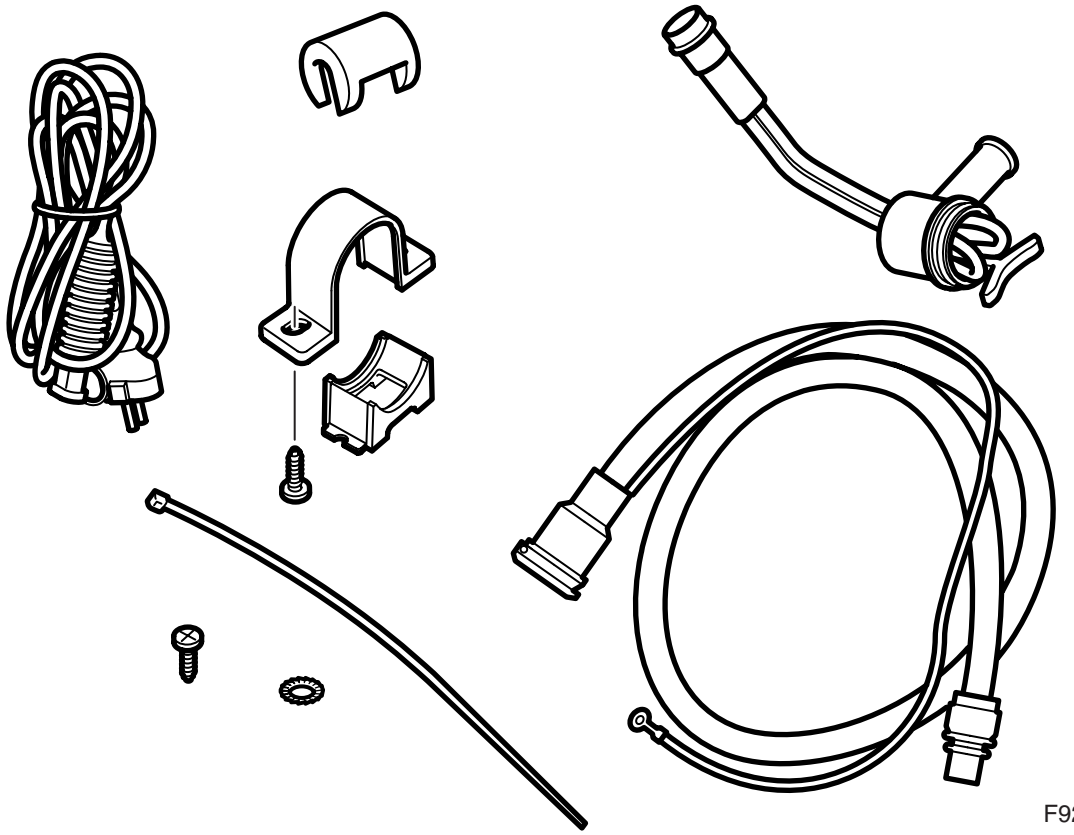
MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE

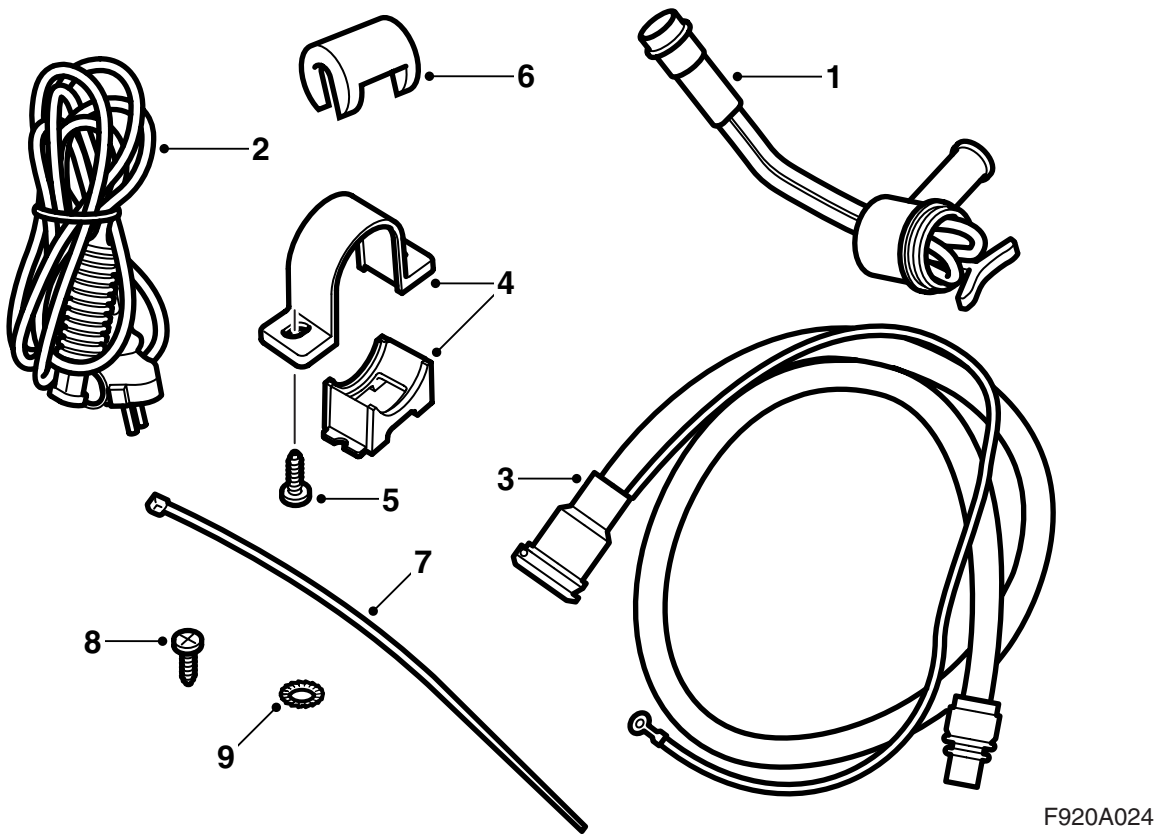
Saab 9-3 D223L M03-

パーキングヒーター

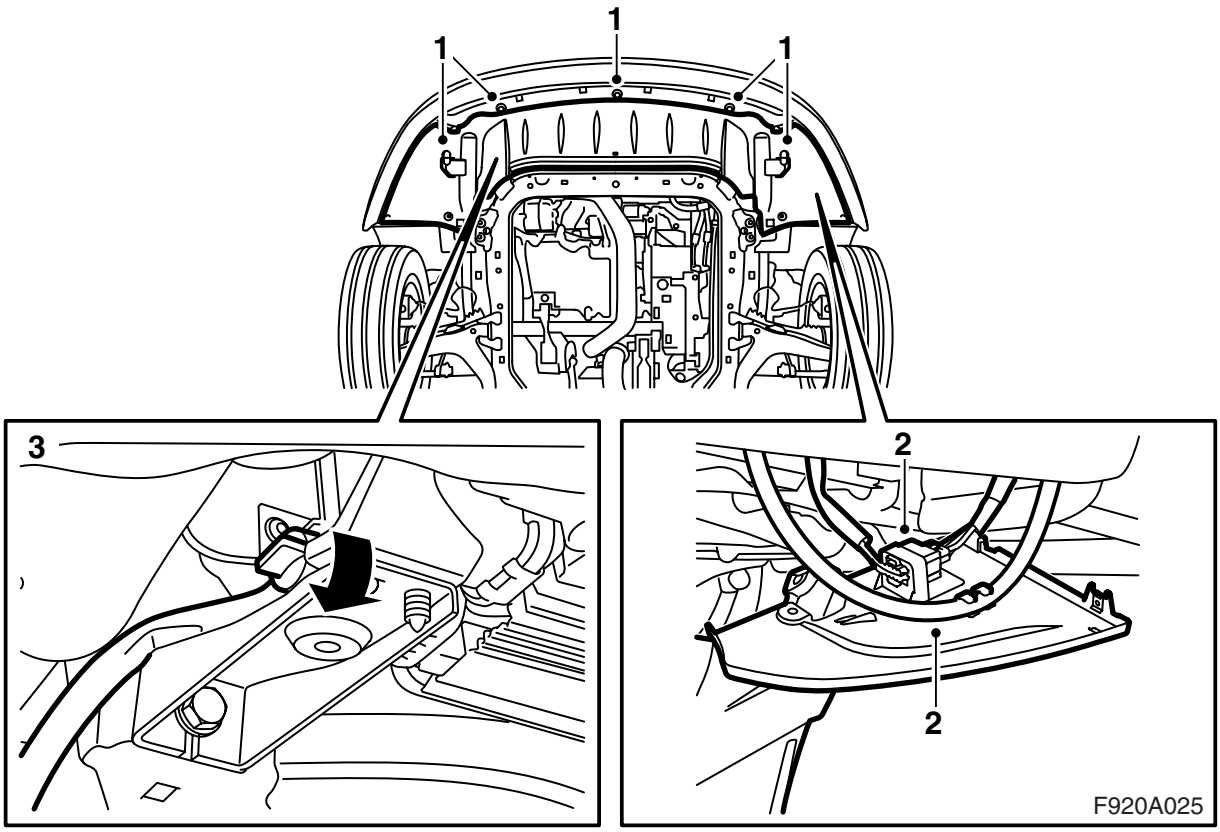
Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 787 165	**9:87-35**	**Mar 04**	**12 788 902**	**12 788 902 Sep 02**



F920A042



1 発熱体
2 接続ケーブル
3 インテークケーブル付きインテークコンタクト
4 ホルダー
5 ネジ（x2）
6 クリップ
7 ケーブルタイ（x5）
8 ボルト
9 スターワッシャー



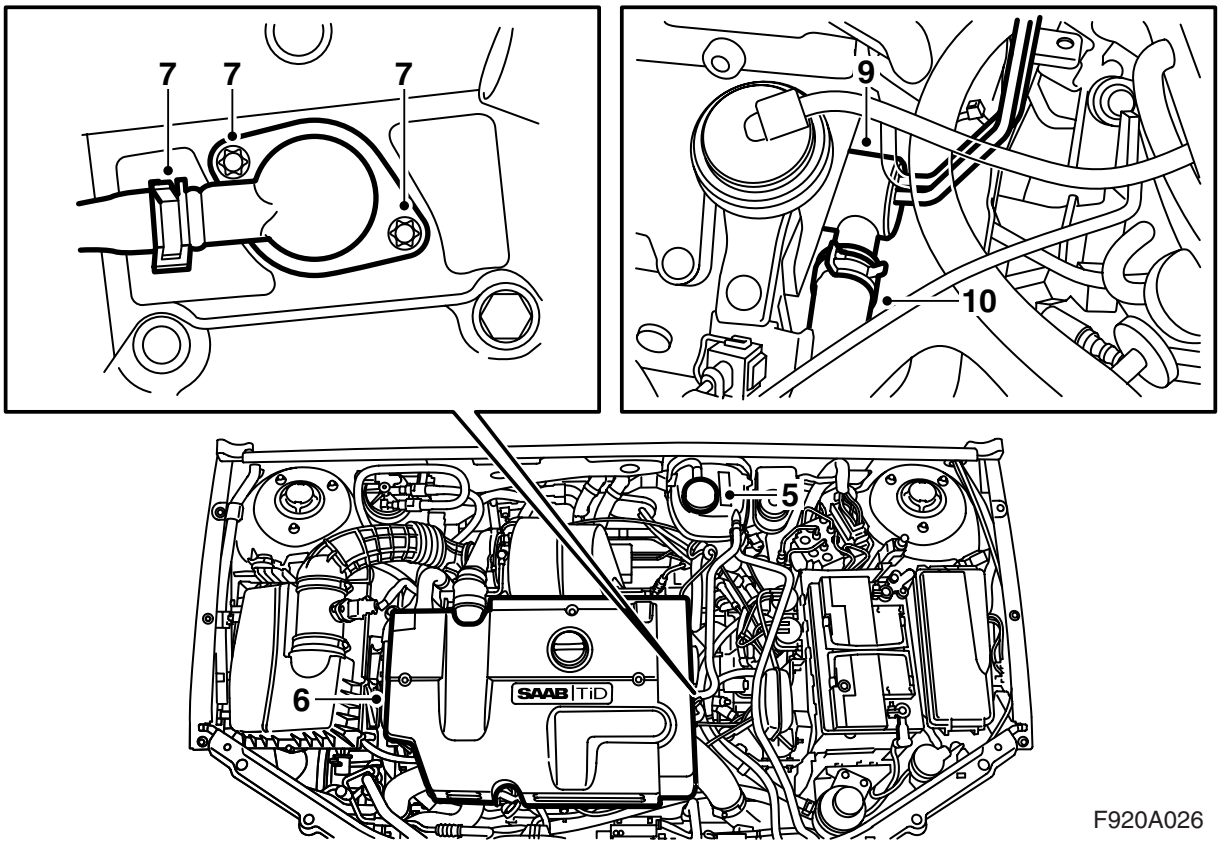
1 車をリフトアップし、スポイラーシールドを取り外す。

2 バンパーのコネクターを分離し、コネクターをスポイラーシールド上のホルダーから取り外す。

ヘッドライトウォッシャー装備車：スポイラーシールドからホースの留めを外す。

3 エンジンの下に漏れ出る液を受けるための容器を配置する。それからラジエーターのドレインニップルにホースを取り付けて、ラジエーターのドレインプラグを開き、冷却液を抜き取る。

4 車両を下ろす。



5 エキスパンションタンクのキャップを取り外す。

6 エンジンカバーとバッテリーカバーを取り外す。

7 エンジンブロックの冷却液継手を取り外し、冷却液ホースを冷却液継手から取り外す。エンジンブロック上のシーリング面を清掃する

8 パーツ番号 30 06 665 の塩基性ワセリン、または同等品をパーキングヒーターの O リングに塗布する。

9 パーキングヒーターの T 型カウンターステーが垂直に配置されるように調整し、ヒーターをシリンダーブロックにあわせ込み、取り付ける。

重要事項

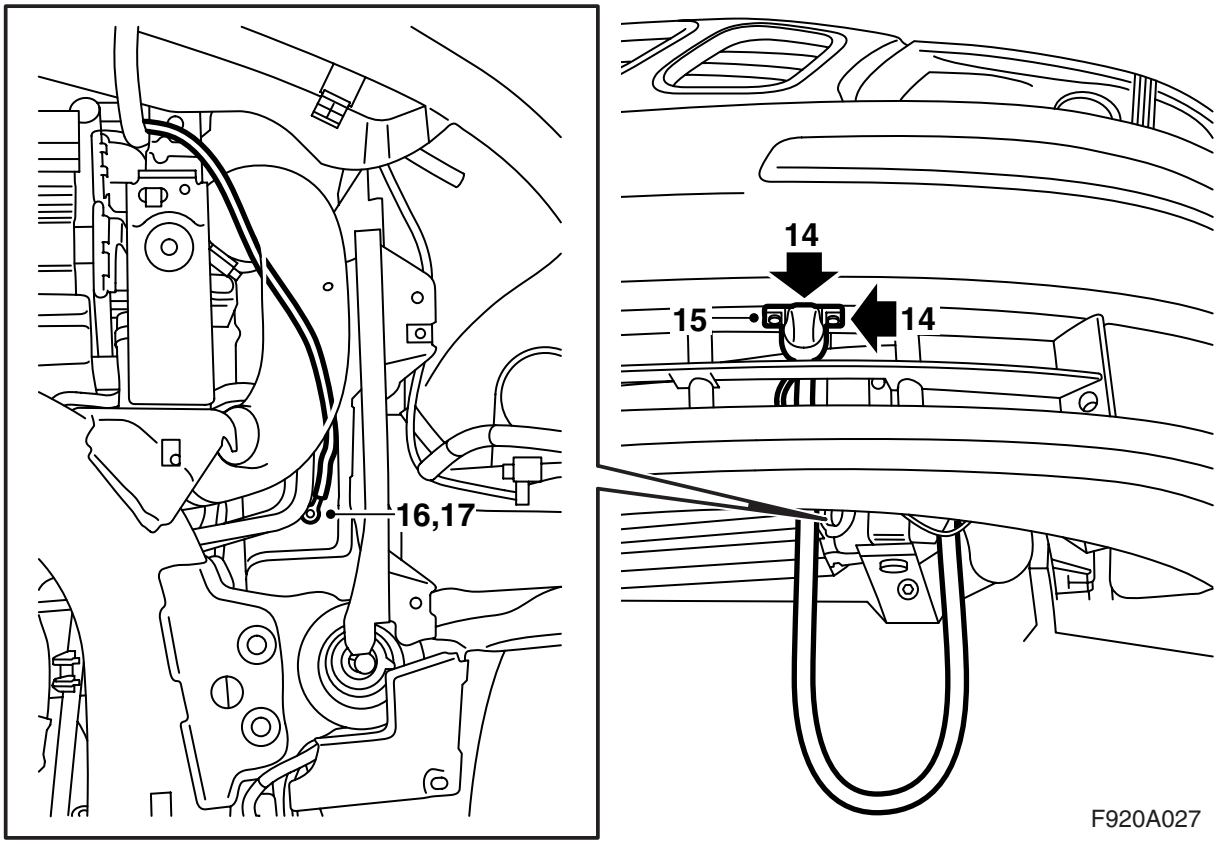
冷却液ホースの継手はシリンダーヘッドのアンダーエッジと平行となっていなければならない。

締め付けトルク： 10 Nm (7.5 lbf ft)

10 冷却液ホースをパーキングヒーターに接続する。

11 車両を上げる。

12 ラジエーターのドレインプラグを閉じ、ホースを取り外す。



13 適切な作業高さまで車両を下げ、インテークケーブルを下部グリルの格子に通し、各パイプの間ならびにラジエーターコアとコアの左ブラケットの間に敷設する。

14 ホルダーのフロントエッジがバンパーシェルの線と一致し、開口部の中心となるようにしてホルダーをバンパー下面に配置することにより、コネクタープラグ用ホルダーを配置すべき場所をマークする。このときホルダー上の矢印が前方を向くようにすること。ケガキ針で穴をあける。

15 インテークコンタクトをホルダーに配置する。ふたが上向きに開くようにする。ホルダーをバンパーに取り付ける。

16 **M03-04**: 3.5 mm のドリルで、構造メンバーにアースケーブル用の穴をあける。

M05-: 構造メンバー上に位置している分岐コネクターを分離する。3.5 mm のドリルで、構造メンバーにアースケーブル用の穴をあける。

重要事項

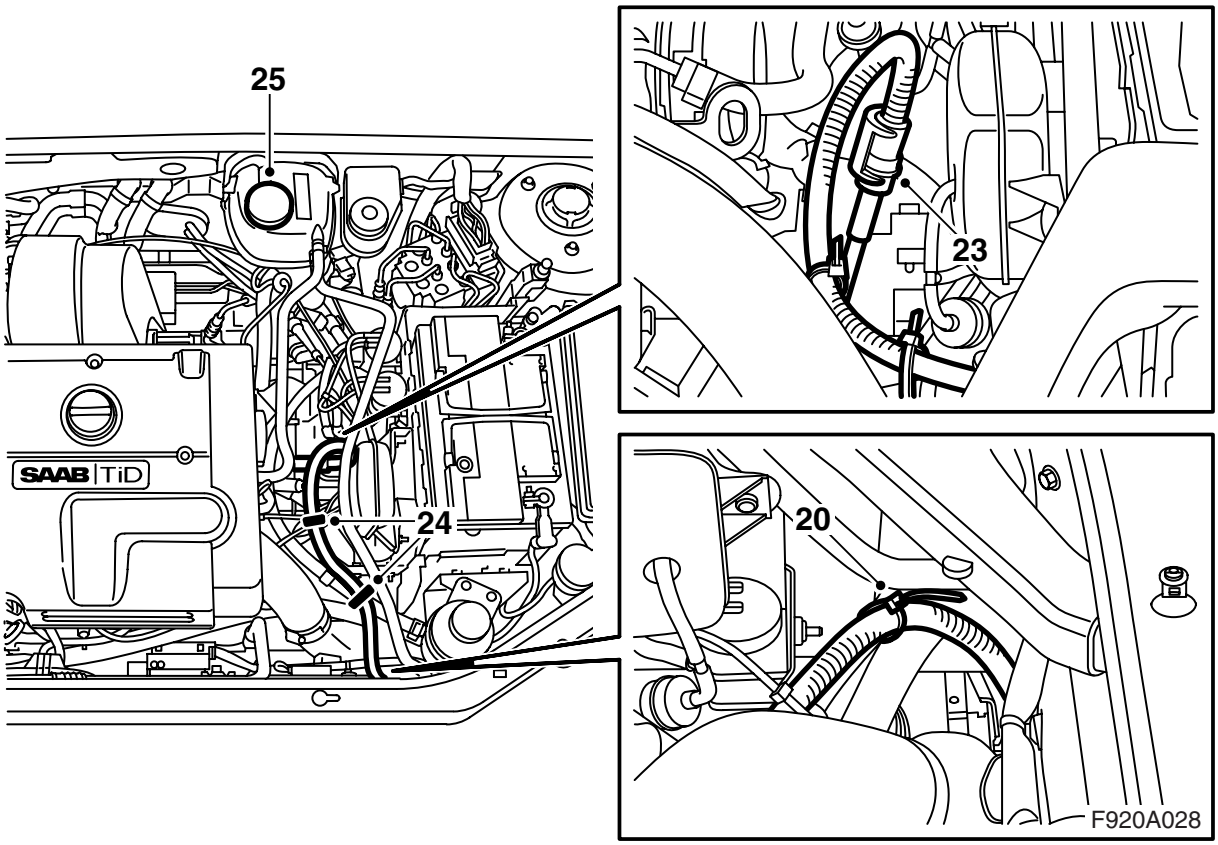
この穴は、角穴のすぐそばにあける必要がある。

17 アース接続を完全なものにするため塗装をきれいにかき落とし、ボルトおよびスターワッシャー（スターワッシャーはアース線端子とボディの間に配置すること）を使ってアース線をしっかりとボルトどめする。パーツ番号 30 15 971 の浸透性防錆剤を塗布する。

18 ラジエーターとチャージエアホースの間を上方に向けてインテークケーブルを敷設し、さらに構造メンバーの側面をまっすぐ上へ敷設する。

M05-: 構造メンバー上に位置している分岐コネクターを接続する。

19 車両を下ろす。



20 ラジエーターの左側を上方に向けてコネクターケーブルを敷設し、ケーブルはラジエーターの上部左マウンティングにケーブルタイで固定する。

21 ラジエーターのエア抜きホース越しに下に向けてコネクターケーブルを敷設し、パワーステアリングホースに沿って後方にパーキングヒーター配置方向に敷設する。ヒーター配置箇所でヒーターに向けて曲げる。

22 パーツ番号 30 15 286 の塩基性ワセリン、または同等品をインテークケーブルの O リングに塗布して、ケーブルをパーキングヒーターに接続する。

> ⚠ **警告**
>
> 接続する前にインテークケーブルの O リングを潤滑し、接続箇所は全てしっかりはめ合わせておくことが重要である。接触不良は、発熱や火災の原因となることがある。

23 ロッククリップを接続部に取り付ける。クリップが正しく取り付けられると、カチッという音がする。

24 ケーブルタイでインテークケーブルを固定する。ケーブルは、エンジンの振動を受け止めることができるようになだらかな弧を描かせる。

25 冷却液を充填し、エキスパンションタンクのキャップを取り付け、システムに漏れがないか点検する。エンジンカバーとバッテリーカバーを取り付ける。

26 冷却システムのエア抜きを下記のように行う：

注記

AC/ACC が OFF の状態にあること。

冷却液をMAXレベルまで充填する。エキスパンションタンクのキャップを閉じ、エンジンを始動して回転速度を変化させながら暖機運転する。

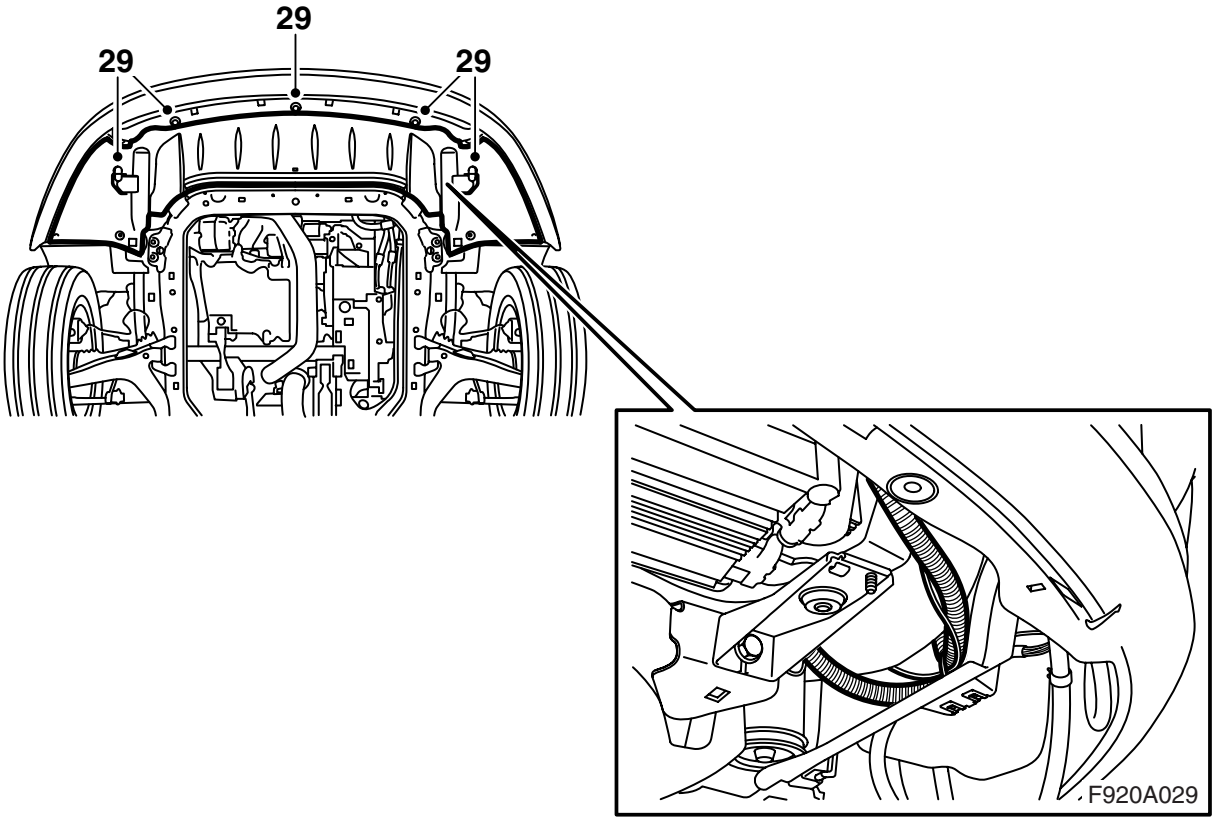
サーモスタットハウジングからの連続した冷却液の流れがエキスパンションタンクにあることを確認する。

サーモスタットが開くまでエンジンを運転する。

エキスパンションタンクのキャップを慎重に開き、再度 MAX レベルまで冷却液を満たす。キャップを閉じる。エンジンを停止させ、必要であれば MAX レベルまで冷却液を補充する。

エンジンを停止させ、エキスパンションタンクのキャップを慎重に開き、MAX レベルまで冷却液を補充する。キャップを閉じる。

27 車両を上げる。



28 コネクターケーブルの余剰分をチャージエアホースと樹脂シールドの間に配置する。ケーブルタイで固定する。

29 スポイラーシールドをリフトアップし、バンパーのコネクターをホルダーに取り付け、コネクターを接続する。

ヘッドライトウォッシャー装備車： ホースをスポイラーシールドにしっかり留める。

全車： スポイラーシールドを取り付ける。

30 車両を下ろす。

31 **ヘッドライトウォッシャー装備車：** ヘッドライトウォッシャーが正しく作動することを確認する。

ユーザーの方へ

- 接続ケーブルには、耐油性で屋外使用許可を受けた、断面積が 3 x 1.5 mm^2 以上のゴムケーブルを使用して下さい。
- ヒーターシステムは、アース付きコンセントへの接続のみが認められています。
- ケーブル類は慎重に取り扱って下さい。特に、ボンネットと車体間に挟まったり、鋭い金属部品などに触れると損傷する恐れがあるのでご注意下さい。

⚠ 警告

感電を回避するため、コネクタープラグのアースピン、ヒーターハウジング、車のボディの間のアース接続を定期的に点検して下さい。

- アースケーブルに損傷や老化が見られないか、定期的に点検して下さい。損傷したケーブルは直ちに交換して下さい。

注記

下記の場合、ヒーターの機能が劣化する恐れがあります：

- 冷却液が汚れている場合
- 冷却液レベルが不十分であるか、システムに空気が入っている場合
- システムにみぞれ状態の氷がある場合
- ラジエーターシールが使用されている場合